

(5) 信州中古住宅流通ネットワーク(NEX-T)

大型商業施設にて各専門家による相談会を開催することで、相談者が相談しやすい環境を形成
所有者が空き家のもつ可能性をVR技術を活用することで認識できる

● 事業の目的

- 相談会の集客効果を高める開催方法の検証、VR技術によるリフォーム映像閲覧で発意を促す

● 活動エリア

- 長野県松本市

● 実施事業の概要

- 事業①:所有者向け空き家相談会の開催
- 事業②:VRを使った空き家所有者への啓発

● 事業実施で得た成果

- 事業①関係:相談件数6件、現地調査アポ取り2件。ショッピングモールでの開催により、相談件数の増加が図れ、相談人員体制も充実させたことで媒介契約まで繋がる。
- 事業②関係:VR自体に対する興味関心もあり、使用希望率は高く、使用者の反響もあり、リフォームに関する理解を深めた。
- VR体験会:参加人数18名、利活用物件数:売却検討中2件

● 事業実施で得た課題

- 大型商業施設を使用したがる相談件数が少なく、費用対効果が低い。
- 相談会への集客のための所有者との接点の創出が必要

● 構成事業者名及び役割分担(構成事業者名:担っている役割)

- (株)小林創建:全体統括、建築関係の相談対応
- 不動産事業者構成員各社:不動産関連、相続等の相談対応
- その他構成員事業者:専門分野の相談対応
- (株)JOHO:企画、広報担当

VR体験会の様子



相談会の様子